

本巡航に行くにあたって

2015

本巡航

8月6日(木)～8月15日(土)



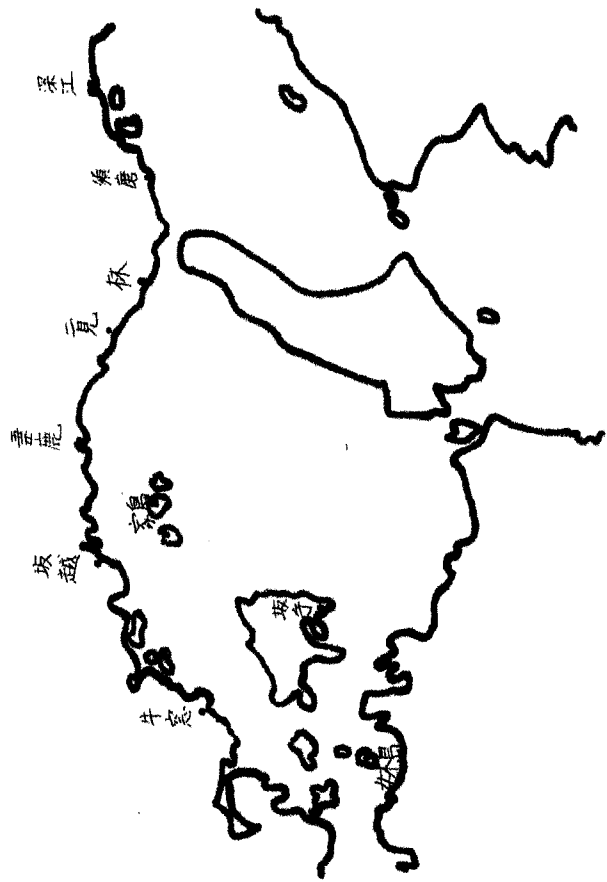
神戸大学端艇部

本巡航の日がやってきた。11日間という
今まで経験したことのないような長い期間
となる。みんな不安でいっぱいだろうがカッ
ター部の仲間と協力して乗り越えよう。さ
て、今回の目的地は女木島だ。ここには
鬼ヶ島伝説やモアイ像があるらしい。実際
に目で見て確かめよう。さあ、女木島へ出
発だ！

神戸大学 巡航委員会

1367031w	岡本京太	1377098w	田口朋
1317025w	遠藤優斗	1387058w	小谷謙太
1397116w	時佐被太	1357183w	森井厚作





目次

1. Navigation Schedule

- 1.1 8/7 深江～林 6
- 1.2 8/8 林～養鹿 6
- 1.3 8/9 養鹿～坂越 7
- 1.4 8/10 坂越～牛窓 7
- 1.5 8/11 牛窓～女木島 8
- 1.6 8/12 女木島～坂手 8
- 1.7 8/13 坂手～家島 9
- 1.8 8/14 家島～二見 9
- 1.9 8/15 二見～深江 10

2. 潮流表

- 2.1 明石海峡 11
- 2.2 播磨灘 12
- 2.3 備讃瀬戸 13

3. メンバー

- 3.1 メンバー 14

4. 巡航に必要な各用具

- 4.1 航海用具 15
- 4.2 主計用具 16
- 4.3 救急箱 17
- 4.4 運用用具 19
- 4.5 個人の持ち物 20

5. 巡航に行くにあたっての注意事項等

- 5.1 航行中の心得 21
- 5.2 停泊中の注意 21

6. 事故防止措置

- 6.1 出艇中止 22
- 6.2 救命設備 22
- 6.3 夜航海時の措置 22
- 6.4 視界不良時の措置 22
- 6.5 事故が発生した場合の対応措置 23

7. 巡航知識

- 7.1 帆走用語 24
- 7.2 アンカー作業 25
- 7.3 LOOK OUT の報告について 26

8. 連絡先等について

- 8.1 メンバーの緊急連絡先 27
- 8.2 緊急連絡網 28
- 8.3 定時連絡 28

1. Navigation Schedule

1.1 8/7 深江～林

TIME	OBJECT	Co	Dist	Run
0400	深江			
		Var.	1.2 mile	
0430	甲南埠頭沖			1.2 mile
		Var.	5.3 mile	
0715	メリケンパーク沖			6.5 mile
		192	1.6 mile	
0800	和田岬沖			8.1 mile
		254	7.0 mile	
1130	垂水沖			15.1 mile
		298	1.8 mile	
1230	山田磯			16.9 mile
		088	1.5 mile	
1330	明石港沖			18.4 mile
		031	1.2 mile	
1400	林港			19.6 mile

1.2 8/8 林～妻鹿

TIME	OBJECT	Co	Dist	Run
0800	林港			
		var.	0.3 mile	
0810	林港沖			0.3 mile
		283	9.0 mile	
1240	東播磨港沖			9.3 mile
		324	7.2 mile	
1610	妻鹿漁港			16.5 mile

1.3 8/9 妻鹿～坂越

TIME	OBJECT	Co	Dist	Run
0600	妻鹿漁港			
		182	2.2 mile	
0710	姫路港沖			2.2 mile
		273	12.4 mile	
1320	釜崎			14.6 mile
		003	1.4 mile	
1400	坂越			16.0 mile

1.4 8/10 坂越～牛窓

TIME	OBJECT	Co	Dist	Run
0600	坂越			
		183	1.4 mile	
0640	釜崎			1.4 mile
		226	3.2 mile	
0815	御崎			4.6 mile
		243	13.0 mile	
1445	牛窓瀬戸			17.6 mile
		var.	0.3 mile	
1500	牛窓			17.9 mile

1.5 8/11 牛窓～女木島

TIME	OBJECT	Co	Dist	Run
0600	牛窓			
		Var.	1.1 mile	
0630	黒島			1.1 mile
		189	3.9 mile	
0830	千振島沖			5.0 mile
		203	4.5 mile	
1045	アワラ島沖			9.5 mile
		232	1.7 mile	
1135	礼田崎沖			11.2 mile
		189	4.0 mile	
1335	女木港沖			15.2 mile
		var.	0.6 mile	
1350	女木港			15.8 mile

1.6 8/12 女木島～坂手

TIME	OBJECT	Co	Dist	Run
0600	女木島			
		075	4.5 mile	
0815	観音崎			4.5 mile
		105	4.1 mile	
1025	大串崎			8.6 mile
		051	6.5 mile	
1340	坂手港			15.1 mile

1.7 8/13 坂手～家島

TIME	OBJECT	Co	Dist	Run
0400	坂手港			
		Var.	0.6 mile	
0420	兒島			0.6 mile
		139	1.3 mile	
0500	大角鼻			1.9 mile
		061	0.8 mile	
0525	風ノ子島			2.7 mile
		040	14.5 mile	
1240	大コ島			17.2 mile
		003	3.5 mile	
1425	家島港沖			20.7 mile
		Var.	0.7 mile	
1445	家島			21.4 mile

1.8 8/14 家島～二見

TIME	OBJECT	Co	Dist	Run
0600	家島			
		Var.	0.8 mile	
0625	家島港沖			0.8 mile
		094	12.4 mile	
1240	二見港沖			13.2 mile
		Var.	2.0 mile	
1340	二見港			15.2 mile

1.9 8/15 二見～深江

TIME	OBJECT	Co	Dist	Run
0600	二見港			
		var.	0.9 mile	
0630	二見港沖			0.9 mile
		122	4.5 mile	
0840	林港沖			5.4 mile
		095	3.0 mile	
1010	山田磯			8.4 mile
		118	1.8 mile	
1110	垂水港沖			10.2 mile
		074	7.0 mile	
1440	和田岬沖			17.2 mile
		012	1.6 mile	
1530	メリケンパーク沖			18.8 mile
		var.	5.3 mile	
1810	甲南埠頭沖			24.1 mile
		var.	1.2 mile	
1840	深江			25.3 mile

5. 巡航に行くにあたっての注意事項等

5.1 航行中の心得

①艇長の指示、号令をしっかり聞くこと

航行中会話などを楽しみ盛り上がることも大切なことではあるが、海上では常に危険と隣り合わせであることを大いに自覚し、メリハリを付けなければならない。

②適切な見張りをを行うこと

航行中船首部分において二人一組でLOOK OUT（見張り）を双眼鏡を使用しながら行うこと。上級生と下級生で組むのが望ましい。周囲に船舶、ブイなどが見えたらその存在を知らせること。また積極的にを行い、個人の勝手な判断で報告をしなかったということがないように。報告の仕方について詳しくはp20 7.3 LOOK OUT の報告についてを参照のこと。

③お互いに協力し合うこと

航行中の漕ぎ、艀装作業などにおいてお互いの協力は必要不可欠である。特にしんどい時こそ協調性を持つこと。また下級生はわからないことがあっても積極的に作業に手をだし、上級生は下級生が苦労しているときは助けてあげる意識を心がけること。

また以下のことはやってはいけない。

- i. 風浪の高い所では早めにリーフ（縮帆）し、無理をしない。
- ii. シートを固縛しない。これが原因で転覆した事例あり。突風を受けたらシート離すこと。
- iii. 磯波のあるところで艇を横にしない。

5.2 停泊中の注意

①時間をしっかり守ること

作業に取り掛かる時間、自由時間など停泊中には様々な決められた時間があるが、必ず守ること。出港時間の遅れにつながりかねない。

②どこかへ行く時は必ず誰かに報告すること。

停泊中の自由時間決められた範囲でどこかへ行くことは構わないが、その際は必ず（艇長、主計長、運用長など）に報告すること。勝手な行動はしてはいけない。

③停泊先の現地の人々などに迷惑をかけてはいけない

当たり前のことではあるが、我々が普通にやっていることでも現地の人々からすれば非常識に感じられるケースがある。巡航中ということもあり脳内の感覚がマヒしていることもあるかもしれないが、いったん冷静に物事見つめなおしやって良いことか悪いことかの判断をしなければならない。

6. 事故防止措置

6.1 出艇中止、避難基準

	条件
風	強風時、波頭が砕け白波が出ている。（風速 8m 以上、ビューフオート 5 以上）
波	波長 5m 以上のうねりがあり、かつ波高 1m 以上ある。
雨	大粒の雨が降っている。
雷	進路上に雷光、稲妻が認められる。（半径 10 km 以内）
視界	視界が 1000m 以下である。
台風	航海予定時間内に強風域（風速 15m 以上）に近づく可能性がある。
健康状態	極度に体調が悪い者がいる。

6.2 救命設備

- i. 救命浮環・・・右舷、左舷の一つずつ、すぐ投入できるように装備しておく。
- ii. ライフジャケット・・・常に着用しておく。
- iii. 落下傘付信号、信号紅煙

6.3 夜航海時の措置

- i. 航海灯（両色灯、船尾灯）の点灯
- ii. 探照灯、投光器、発電機の用意（航海灯の故障、バッテリー切れ時のバックアップ）
- iii. 見張り員の増員
- iv. 防寒着の着用

6.4 視界制限時の措置

6.3 i～iv に加え

- v. 2分を超えない間隔で有効な音響信号を行う。
- vi. 他船の音響信号、エンジン音に注意する。

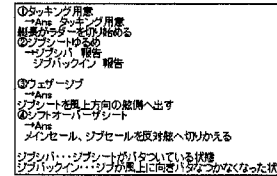
6.5 事故発生時の対処

	クルー	艇長
転覆	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフジャケットを膨張させる ・艇に集まり、しがみつく ・互いに名前を呼び合う ・周囲を見回す、要救助者がいれば助ける ・他船に助けを求める ・落ち着いたら、ナイフ等を用いてステイのラニヤードを切断してマストを抜き、一斉に片舷からガンをネルを持ち上げてカッターを起こす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点呼、ケガ人の確認 ・通信機器、落下傘付信号、信号紅煙の確認
落水 (物を落とす)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 落水者はライフジャケットを膨張させる 2. 落水者の方向を指さすなどして、見失わないようにする。夜航海時はトーチなどを使用する。 3. 救命浮環を投下する 4. ダウンセール、櫂止め等で行き足を止める 5. 漕ぎにより落水者に接近、必要に応じ權上げ、權立てをする 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 落水者の舷へ転舵 2. 落水者確認 3. 風下側より落水者に接近
乗り揚げ	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷、浸水の確認 ・破孔を生じた時は、反対舷に傾けて毛布を当てるなどして応急処置を取る ・水深のあるほうへ離脱 	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の底質、水深の確認
衝突	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷、浸水の確認 ・破孔を生じた時は、反対舷に傾けて毛布を当てるなどして応急処置を取る ・ケガ人がいれば応急手当をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・点呼、ケガ人の確認 ・相手船の損傷程度、船名、所有者、船長氏名と住所を確認、
傷病	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当をする ・最寄の避難港へ向かう 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話で陸に電話をし、救援を請う
火災	<ul style="list-style-type: none"> ・セールを火元から遠ざける ・海水をかける、毛布に火が燃え移らないように注意し毛布をかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・火元を風下にする

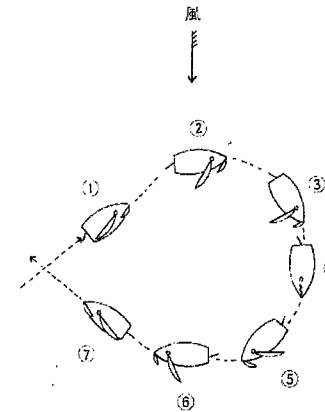
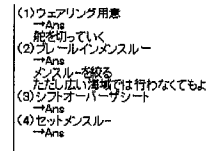
7. 巡航知識

7.1 帆走用語

i. タッキング・・・風を受けている舷側を、一方の側から他方へ変える操船のことを指す。目的地が風上側にあるときはこれを何度も繰り返す行う。



ii. ウェアリング・・・風と同じ方向に帆走しているときに、風の中を船尾が移動して風の向きを一方の舷側から他方の舷側へ変化させることである。



iii. その他

- ・ウェザー・・・風上
- ・リー・・・風下

→バラスト ウェザー or リー と艇長が号令をかければ、クルーが動くことによりそちらの方向へバラストを移動する。本来バラストとは船体の重量を増したりバランスを取るための重しのことを指す。

- ・スターボードタッグ・・・左舷側から風を受けることにより帆を右舷側へ開いている状態。
- ・ポートタッグ・・・右舷側から風を受けることにより帆を左舷側へ開いている状態。
- ・Set sail (セット セイル) 帆をかける。
- ・Down sail (ダウン セイル) 帆を下ろす。
- ・Reef sail (リーフ セイル) 帆を縮める。
- ・Unreef sail (アンリーフ セイル) 帆を伸ばす。
- ・Let go (レッコ) 離す、捨てる、投げる。
- ・Hold on (ホールド オン) 固定する。
- ・Slack (スラック) 緩める。
- ・Lea side (リーサイド) 風下側。
- ・Weather side (ウェザーサイド) 風上側。

7.2 アンカー (錨) 作業

i. Stand-by anchor (スタンバイ アンカー)

いつでもアンカーを投入できるよう準備する。

ii. Let go anchor (レッコ アンカー)

アンカーを投入する。

iii. Brought up anchor (プロウト アップ アンカー)

アンカーが海底を掻いた状態。

iv. Heave in cable (ヒープ イン ケーブル)

アンカーを引き寄せる。

v. Up and down anchor (アッペンダウン アンカー)

アンカーが海面から上がった状態。

vi. Foul anchor (ファウル アンカー)

アンカーが絡んだ状態。

vii. Clear anchor (クリアーアンカー)

きれいにアンカーが上がった状態

注意

- ・アンカー投入後、アンカーが海底について安定するまではロープに触らない。
- ・安定したらある程度の長さにしてシートに固縛する。
- ・振れ回りを見て走錨していないか確認する。

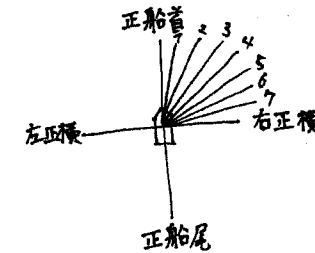
7.3 LOOK OUT の報告について

LOOK OUT は周囲に船舶などがあり自船の進路に危険を及ぼすものに関しては報告しなければならない。

i. 船舶の動静

- ・反航船・・・自分の艇と反対の方向に進む船
- ・同航船・・・自分の艇と同じ方向に進む船
- ・横切り船・・・自分の艇の進路を横切る船

ii. 方位



1 象限を 8 分割する。単位はポイント。

iii. 距離

マイル (1 マイル = 1 8 5 2 m) で判断する。また目測で判断する。

☆ i ~ iii を踏まえての報告例

「右舷 2 ポイント、距離 3 マイルに反航船です」。